

# ぽんけん協会 協会 ぽんけん 特保指導を委託 カワチ薬品など2社に

全国健康保険協会（協会けんぽ）栃木支部は22日、ドラッグストア大手のカワチ薬品、調剤薬局のファーマシー中山（栃木県栃木市）の2社と特定保健指導の委託契約を締結したと発表した。両社は近く指導を始める予定。同支部によると、協会がドラッグストアや調剤薬局とこうした契約を結ぶのは全国で初めてだという。

特定保健指導はメタボリック症候群についての健康診断を受け対象となった人に、保健師などが行う指導のこと。食生活の改善などが指導内容となる。同支部はこれまで5病院と委託契約を結んでいたが、県央や県北に偏っていた。このため今回、県南に本社を持つ両社と

契約を結ぶことにした。同支部は「両社の人材や店舗網などを最大限活用することで、今まで以上に加入者に指導を受けられる機会を提供できる」としている。

両社は管理栄養士が指導に当たる予定で、「健康についての多様なサービスを提供したい」と話している。

# 薬局でもメタボ指導

協会けんぽ  
栃木支部 全国初、業務を委託

全国健康保険協会（協会けんぽ）栃木支部は22日、メタボリック症候群やその予備軍となる人を対象に行う「特定保健指導」を、カワチ薬品（小山市）とファーマシー中山（栃木市）に委託した、と発表した。協会けん

ぽは特定保健指導の機会を増やすため、全国的に医療機関などへの外部委託を進めているが、ドラッグストアや調剤薬局に委託するケースは初めてという。協会けんぽ栃木支部は「両社の人材や店舗網を最大限活用し、今

まで以上に保健指導を受けられる機会を提供できるとしている。委託料は実績に応じて支払う。両社とも管理栄養士が保健指導を行う。カワチ薬品は店舗で実施予定。ファーマシー中山は、店舗で行うか対

象者の勤務先へ出向く。

同支部は県内5カ所の医療機関にも委託している。本年度、特定保健指導の対象となる県内の被保険者は約2万人の見込みで、このうち約5千人分の指導を外部委託する方針。